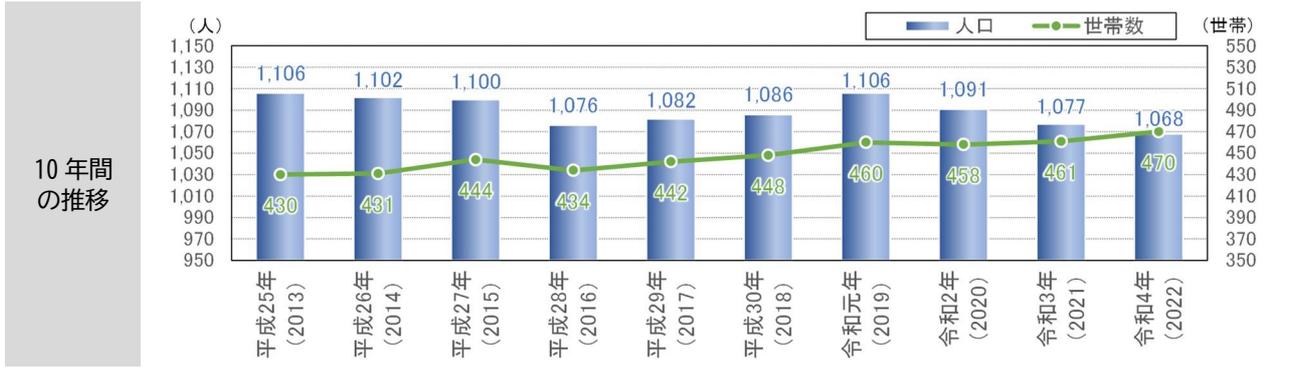
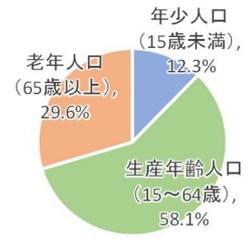


	世帯数	人口	年齢別人口
現在	470 世帯	1,068 人	15歳未満 (年少人口) 137 人
			15～64歳 (生産年齢人口) 649 人
			65歳以上 (老年人口) 331 人
約50年前	276 世帯	1087 人	



地名は、川岸にある表土の深い肥えた土地であることに由来するとされますが、一説には**仏供田**に由来するとも言われています。古代律令制では播磨国神前郡高岡里に含まれたと考えられます。昭和53年(1978)の**固寧倉**の解体修理の際、地下から表に格子縞模様、裏に布目のある奈良時代の古瓦片が多数見つかったことから、官衙の一部が草庵のような小さな寺院があったと考えられています。

中世は**高岡荘**に含まれたと考えられ、近世は姫路藩領で、大庄屋組は山崎組に属しました。寛延2年(1749)の福田村明細帳によると、家数は72軒・人数450人でした。『兵庫県播磨国地種便覧』によると、明治14年(1881)の戸数は77戸・人口は362人でした。明治22年(1889)に福崎村の大字となりました。

福崎西中学校の西にある**三宮神社**は中村の神社であったと伝わります。『神崎郡誌』には「当社社付近に中村と称する村落ありしも遂に滅亡して僅かに寛延二年(一七四九、九代家重將軍)の明細帳に亡村として其名を存す。」とあります。

歴史等



※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
建築物	1	阿弥陀堂	享保3年 (1718)	三間三面の宝形造の建物で、本来は藁葺きである。天正2年(1574)の銘を持つ阿弥陀如来をまつことから、阿弥陀堂といわれている。墨書から享保3年(1718)に建てられたことが判明している。現在は解体保存されている。 【町指定有形文化財】				●			
	石造物	2	八十八所霊場石仏 (浄泉寺)	大正期 (1912~1926)	大正期(1912~1926)に造立された四国八十八所霊場札所の本尊を写した石仏を安置した小石祠群。一部崩土により流失している。				●		
		3	蔵王権現立像(浄泉寺)	不明	蔵王権現の石仏。				●		
		4	題目塔(福田墓地)	明和7年 (1770)	正面には「南無妙法蓮華経法界万霊」、右には造立年月、左には「唱題講中」の文字が記されている。				●		
		5	石鳥居(荒熊大明神)	大正13年 (1924)	大歳神社の境内社荒熊大明神の石鳥居。右柱正面には「奉」の文字と造立年月、左柱正面には「納」の文字と願主が記されている。				●		
		6	石鳥居(大歳神社)	昭和6年 (1931)	石鳥居。右柱正面には「奉」、背面には造立年月、左柱正面には「納」、背面には願主が記されている。				●		
		7	石灯笼(三宮神社)	安永2年 (1773)	左右一対の石灯笼。左右とも正面には「御神灯」、右灯笼の右に「安永二」、左に「志水氏」、左灯笼の左に「癸巳天」と記されている。				●		
		8	石灯笼(大歳神社)	文化3年 (1806)	石灯笼。正面には「氏子中」、右に造立年月日が記されている。				●		
		9	石灯笼(大歳神社)	天保7年 (1836)	左右一対の石灯笼。左右ともに正面には「御神灯」、背面には「氏子中」と記され、右灯笼の左に造立年、左灯笼の右に造立月日が記されている。				●		
		10	石灯笼(大歳神社)	明治28年 (1895)	石灯笼。正面には「奉献」、右に造立年月、左に「征清紀念燈」と記され、台石の正面に「氏子中」、基礎の背面に周施人が記されている。				●		
		11	石灯笼	明治41年 (1908)	石灯笼(常夜燈)。中台に造立年月、竿の正面には「正一位高寄大神霊」と記されている。寄せ集めの石材によるもので、中台は花崗岩製の石臼である。浄泉寺近くに位置する。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	12	石灯笼（大歳神社）	大正 9 年 (1920)	石灯笼。正面には「奉献」、右に「征露紀念燈」、左に造立年月が記され、台石の正面に「氏子中」、基礎の背面に世話人の名が記されている。				●		
	13	石灯笼（荒熊大明神）	大正 13 年 (1924)	大歳神社の境内社荒熊大明神の石灯笼。左右一対。右灯笼の正面に「奉」、右に造立年月、左灯笼の正面に「納」、左に造立年月が記され、いずれも台石の正面には「氏子中」と記されている。				●		
	14	石灯笼（三宮神社）	昭和 9 年 (1934)	左右一対の石灯笼。右灯笼の正面に「奉」、左灯笼の正面に「納」と記され、右灯笼の台石の背面に造立年と願主、左灯笼の台石の背面に願主が記されている。				●		
	15	手水石（三宮神社）	天保 2 年 (1831)	手水石。正面に「奉献」、右に造立年月、左に世話人が記されている。				●		
	16	手水石（大歳神社）	安政 4 年 (1857)	手水石。正面に「奉納」、右に造立年月、背面に「氏子」と記されている。				●		
	17	手水石（庚申堂前から移設）	明治 20 年 (1887)	手水石。正面に「奉納 水」、背面に造立年月・願主・世話人が記されている。令和 2 年（2020）に大歳神社境内に移設。				●		
	18	手水石（大歳神社）	不明	手水石。正面に「奉献」、左に「当所婦人会」と記されている。				●		
	19	狛犬（大歳神社）	大正 11 年 (1922)	石造狛犬。				●		
	20	狛犬（三宮神社）	昭和 8 年 (1933)	石造狛犬。尾道狛犬という阿形は前肢を球の上に乗せ、吽形は肢のそばに子狛犬が彫られている狛犬。				●		
	21	狛狐（荒熊大明神）	大正 13 年 (1924)	大歳神社の境内社荒熊大明神の神使（狐）。				●		
	22	日野千代太郎頌徳碑	大正 8 年 (1919)	日野千代太郎の顕彰碑（頌徳碑）。正面には「治績不朽」と記されている。				●		
	23	日野善次頌徳碑	昭和 7 年 (1932)	日野善次の顕彰碑（頌徳碑）。正面には「恩師日野善次先生頌徳碑」と記されている。				●		
	24	宝篋印塔（福田墓地）	不明	宝篋印塔の残欠。				●		
	25	無縫塔（浄泉寺）	元禄 10 年 (1697)	正面には梵字と「当寺中興勸応阿闍梨口靈」の文字とともに造立年月日が記されている。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	26	石段標（大歳神社）	寛保3年（1743）	石段標。正面に造立年月日が記されている。				●		
	27	石段標（大歳神社）	明和4年（1767）	石段標。正面に造立年月日が記されている。				●		
	28	石段標（大歳神社）	大正7年（1918）	左右一対の石段標。右柱正面に造立年月、左柱正面に「氏子中」と記されている。				●		
	29	石段標（大歳神社）	不明	石段標。正面に「施主 小国六郎右衛門 同助五郎」と記されている。				●		
	30	石段標（大歳神社）	不明	石段標。正面に「当邑 氏子中」と記されている。				●		
	31	石棺棺身（福田墓地）	不明	長野新池の石棺蓋とセットになる石棺の棺身。長野新池付近の古墳から持ち出したものと考えられるが古墳は見つかっていない。棺身の一部に三本線を彫刻している。現在は天地逆向きに置かれ、下面をコンクリートで塗り固めている。						●
	32	石標（大歳神社）	文政6年（1823）	石標。正面には「氏子中」、右に造立年月日が記されている。				●		
	33	百度石（大歳神社）	大正15年（1926）	百度石。				●		
	34	朝日山墓	不明	力士墓碑。正面には「朝日山墓」と記されている。				●		
35	鳴神五良大夫墓	大正6年（1917）	墓碑。正面には「鳴神五良大夫墓」と記されている。				●			
美術工芸品 絵画	36	騎馬武者絵図（大歳神社）	嘉永元年（1848）	奉納者は「当村子供中」とある。89.5×74.8 cm。	●			●		
	37	武者絵図（大歳神社）	嘉永年間（1848～1854）	奉納年月日は「嘉永□」とあるが詳細は不明。奉納者は不明。91.5×136 cm。	●			●		
	38	川中島合戦図（大歳神社）	明治10年（1877）	画家は「佐々木守雄」、奉納者は「当村氏子中」とある。82×135.8 cm。	●			●		
	39	歌舞伎題材図（大歳神社）	明治13年（1880）	奉納者は「願主2名」とある。82×121 cm。	●			●		
	40	一文字額（大歳神社）	明治35年（1902）	奉納者は不明。64.5×90 cm。	●			●		
	41	仁田四郎猪狩図（大歳神社）	大正12年（1923）	奉納者は「願主亥の年61歳男」とある。98×130 cm。	●			●		
	42	羽子板絵馬（大歳神社）	不明	奉納者は不明。1枚。	●			●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称		年代	概要	歴史文化ものがたり						
					①	②	③	④	⑤	⑥	
美術工芸品	絵画	43	妹背山川場之図(三宮神社)	不明	奉納年月日は「明治□年□月」とあるが詳細は不明。画家は「佐々木守雄」、奉納者は「当所氏子中」とある。94.5×150 cm。	●			●		
		44	正三位源頼政猪の早太忠澄鶴退治図(三宮神社)	大正 12 年 (1923)	奉納者は「願主亥の年 61 歳男」とある。98.5×133 cm。	●			●		
		45	四十七士肖像図(三宮神社)	不明	奉納者は不明。かつては 32 面あったが、現在は 28 面保存。51×39 cm。	●			●		
		46	十二支図(鶏)(三宮神社)	不明	奉納年月日は「□38 年 4 月」とあるが詳細は不明。奉納者は「福寄 志水淳二」とある。45×63 cm。	●			●		
		47	日露戦争図(三宮神社)	明治 39 年 (1906)	奉納者は「当村氏子中」とある。92.5×170 cm。	●			●		
		48	中国武將図(三宮神社)	不明	画家は「姫府 百齊翁」、奉納者は「福崎村」とある。87×98.5 cm。	●			●		
		49	相撲番付額(三宮神社)	不明	奉納者は「若□右衛門」とある。42×192 cm。	●			●		
		50	俳諧額 折句冠附三千吟集(三宮神社)	寛政 6 年 (1794)	奉納者は福田村「闌窓」とある。48×190 cm。	●			●		
	彫刻	51	木造阿弥陀如来坐像	天正 2 年 (1574)	漆箔の寄木造りの木像。像下部の墨書銘から、願主は松岡五郎左衛門、作者は天心一道、天正 2 年(1574)に造られたことがわかる。阿弥陀堂の解体保存に伴い、現在は本覚寺で保存されている。 【町指定有形文化財】				●		
		書跡・典籍・古文書・歴史資料	52	大歳神社改築棟札	大正 15 年 (1926)	大歳神社蔵。大歳神社の尖頭形棟札。総高 96.7×上 35.0 下 36.0 cm、厚さ 2. cm 5。裏面には大工棟梁や石工、木挽、瓦屋根師など、工事に携わった人々が詳細に記されている。				●	
53	大歳神社上棟棟札		昭和 31 年 (1956)	総高 107.0×57.0 cm、厚さ 3.0 cm。昭和 31 年 (1956) 4 月 15 日に上棟式が行われたことが記されている。				●			
54	福田区有文書		—	1,150 件(点数不明)。		●					
有形の民俗文化財	祭具	55	屋台(福田区)	—	布団屋根型屋台。優美な水切と緋緘を来た若武者を思わせる華麗な姿が特徴。				●	●	

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
有形の民俗文化財	その他の有形の民俗文化財	56	固寧倉	江戸時代後期	固寧倉は、江戸時代後期に姫路藩が整備した非常用食糧備蓄倉庫。福崎町内では、天保14年(1843)に山崎組に8か所、辻川組に8か所設けられていたようである。福田の固寧倉は、大歳神社鳥居南の卿倉屋敷とよばれる地にあったものを明治20年(1887)頃移築したものである。 【町指定有形民俗文化財】			●			●
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	57	秋祭り(福崎)	-	福崎地区・高岡地区の屋台13台(布団屋根型6台、神輿屋根型7台)が二之宮神社に集まる。本宮では、宮元である山崎屋台が12台の屋台をJR福崎駅前へ迎えに行き、福崎駅前屋台が練り上げられた後、二之宮神社に宮入りする。拜殿で神事が行われ、五穀豊穡が祈願された後、宮出しが行われる。山崎の木方による合図で一斉に屋台が動きだし、練り合わせを行う「13台サラバ練り」は見どころである。			●	●		●
		58	正月行事	-	1月1日に大歳神社で行われる。				●		
		59	トンド	-	1月14日に大歳神社で行われる。				●		
		60	柴灯	-	2月3日に大歳神社で行われる。				●		
		61	夏まつり	-	7月中旬に大歳神社で行われる。				●		
		62	水神祭り	-	7月中旬から下旬頃に西清水水源で行われる。				●		
		63	八朔	-	毎年8月最終土曜に大歳神社で行われている。夕刻になると浴衣を着た多くの村人が神社に集まり、21時までは子どもが輪の中心となり踊る。21時を過ぎると、音頭が「江州音頭」に変わり、夜中まで踊り続ける。				●		
遺跡	古墳・その他の墓	64	東大谷古墳	古墳時代	古墳時代の円墳。横穴式石室であり、須恵器、土師器、火葬の骨壺の破片が出土したとされるが、現在は確認できない。		●				
		65	宮山古墳	古墳時代	古墳時代の円墳。横穴式石室であり、石材の一部が残存する。		●				
		66	上垣内古墳	古墳時代	古墳時代の円墳。横穴式石室。		●				
		67	小山古墳	古墳時代	古墳時代の円墳。横穴式石室と思われる。		●				

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

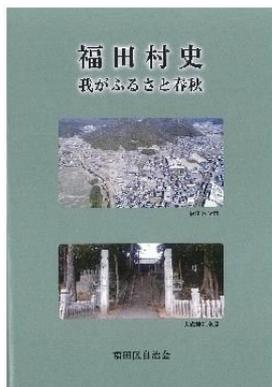
分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡等	68	観音堂遺跡	奈良時代～中世		●				
		69	宮ノ前遺跡	弥生時代～中世		●				
	城館跡・神社跡	70	福田無量寺跡	奈良時代		●				
		71	七種道	—					●	
	その他の遺跡	72	福山鉾山跡	大正期～昭和初期		●	●			
73		椿坂跡	—		●					
名勝地	山岳	74	大師山	—		●				
	河川・滝	75	七種川	—		●				

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり					
				①	②	③	④	⑤	⑥
動物・植物・地質鉱物 植物	76 大歳神社の森	—	環境省の自然環境基礎調査では、社叢内のエノキ（幹周 390 cm、樹高 20 m）、ムクノキ（幹周 300 cm、樹高 20m）、シイノキ（幹周 305 cm、樹高 20m）は巨樹・巨木として、イチイガシ林（0.2ha）は特定植物群落としてあげられている。 【兵庫県指定郷土記念物】 【町指定保存樹】		●				
	77 福田公民館前のムクノキ	—	福田公民館前に位置する。北側のムクノキは、平成 26 年（2014）月に枯死のため伐採。 【町指定保存樹】		●				
	78 本覚寺のサツキ	—	本覚寺境内に位置する。 【町指定保存樹】		●				
	79 福崎高校のフジ	—	福崎高校に位置する。 【町指定保存樹】		●				
その他 信仰の場	80 大歳神社	—	福田区の氏神で、百歳の森公園に隣接している。境内にあるイチイガシの巨木は県郷土記念物に指定されており、県内有数の大きさを誇る。				●		
	81 三宮神社	—	神は少名毘古那神。近くにあった中村の氏神であったが大雨で滅村し、住民の一部が福田と新町へ移住したため、現在は両区の村社となっている。老朽化した拝殿は令和 3 年（2021）7 月に除却。				●		
	82 浄泉寺	—	弘法大師を祀る真言宗の寺で金剛城寺の末寺。本堂裏には石仏八十八所巡りの参道が整備され、大師山への登山道につながっている。				●		
	83 本覚寺	—	慶安 3 年（1650）開基の浄土真宗の寺。大庄屋三木家菩提寺で現本堂は五代通庸が寄進。				●		
	84 庚申堂	—	本尊は青面金剛。60 日ごとに巡ってくる庚申の日に庚申まつりが行われ、有志によりお祀りされてきた。平成 31 年（2019）4 月に除却。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りや信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

- ・令和3年（2021）3月に福田歴史研究会により地域史誌『福田村史』が編さんされました。
- ・大歳神社拝殿・本殿の老朽化が進んだため、基金(福田ふるさと基金)を設立し、区民の積立金により修理・改築を行いました。
- ・福田祭り太鼓・囃子保存会を組織し、区に伝わる祭り太鼓・囃子の保存・継承並びに後継者の育成に向けた取組を行っています。
- ・福田八朔祭り保存会を組織し、区に伝わる八朔盆踊りの保存、継承並びに後継者の育成に向けた取組を行っています。



『福田村史』の編さん